

小学生担当支援員ミーティング② 報告書

日 程 2024年10月24日(木) 15時30分～16時 須賀公民館

出席者 竹原、鈴木ま、柳田、天羽、伊藤、武次、鈴木ゆ、高橋、三谷、大野

欠 席 中村、平澤 遅刻：鳥海

記録：大野

現状と問題点

2・3年生(5人) 鈴木裕理子

- ・ 特に問題なし。

4年生(5人) 伊藤美千枝、高橋 藍、中村輝夫

- ・ 生徒との距離が心配 ➡ 生徒に立って話しかけていることが多いので、近くに座ると目線が同じになって良いと思う。(大野)

5年生(11人) 天羽輝彦、武次 秀、平澤映二、内田一彦

- ・ 騒いでいる。
 - ・ 用具を準備してこない。何のために来ているのか。
- ➡ そういう子の対応に苦慮している支援員の発言は何回か何人から出ている。寺子屋は家庭学習が難しいこどもの集まりである、ここに来て自分で学習するだけで嬉しいこと。また子ども自身に寺子屋に来て意味を問いかけ考えさせていいのではないか。(大野)

6年生(12人) 竹原廣子、鈴木真理子、柳田誠一、鳥海千昭

- ・ 女子は特に問題がない。
- ・ 算数など学習支援が難しい場合は、得意な支援員に任せるようにお願いする。
- ・ 鳥海さんの学習アプローチがとても良い。

2年～5年生の部屋割りと担当について

[提案者] 大野 文

[提案内容] 2～5年生の担当と部屋割りについて

[現状の課題①]

生徒には、大きく分けて以下のような2パターンがあり、その全員が同じ部屋で学習していることで、良好な学習環境とは言えない状況がある。

パターン A 寺子屋での学習目的を十分理解し、学習意欲が高く、自ら進んで学習に楽しく取り組める生徒。

パターン B 寺子屋での学習目的をあまり理解できてなく、学習意欲が低く、おしゃべりが多く、気が散りやすく、集中して学習することが苦手な生徒。

[現状の課題②]

パターン B の生徒対応に苦労している。

例えば、おしゃべりが多く学習時間が短い、用具や教材を用意してこない、宿題が終わった

後の対応はどうか、等々。

[課題解決の提案]

1. 4・5年パターンBの生徒は、憩いの部屋で学習する。

該当生徒：(4年)向川、鳥海ま、藤岡あ (5年)平野た、小林ゆ、谷口、小田島 7名

担当支援員：伊藤、武次、内田

＊ 基本的に 16:30～17:00 学習計画を立てて、実行する。17:00～17:30 個々の特徴に合わせて、担当支援員とお話をしたり、知育教材で遊んだりしながら楽しく時間を過ごし、最後にふり返りを書く。

＊ 学習ができるようになった生徒はパターンAに移行する。

2. 2・3年生と4・5年パターンAの生徒は一緒に2階会議室で学習する。

該当生徒：(2年)橋爪、小林め、都築 (3年)府川す、大須賀しゅ (4年)小沼、田中ゆ
(5年)芳賀、大須賀れ、府川こ、町川、本郷、榎本、見次 14名

担当支援員：鈴木裕、中村、天羽、平澤、高橋

＊ 生徒の対応は、支援員全員で行ってください。

➡ 提案通り実施してみる。まずは11月～12月迄様子を見る。

以上